

23年度
スローガン

感謝

社団法人
長崎青年協会

2011年

6月号

Nagasaki Young generation Association



6月号 目次

5月例会	2・3 ページ
厄入り清祓いの儀・市長表敬訪問	4 ページ
『ありがとう』の言葉	5 ページ
6月・7月の活動スケジュール	6 ページ

発行 (社)長崎青年協会 会長 山口 健太郎
住所：長崎市江戸町4-5 三瀬ビル3F
Tel：095-821-1625 Fax：095-823-7375
URL：http://www.nya.or.jp
Mail：info@nya.or.jp
印刷：タイピント印刷

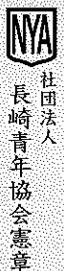
会長挨拶



第四十三代会長
山口 健太郎

今年は入梅が早く九州南部では5月23日に去年より20日も早く梅雨入りし、また九州北部では6月5日に梅雨入りしました。昨年は太平洋赤道域中・東部の海面温度が例年より低くなるラニーニャ現象による異常気象でオーストラリアや東南アジアなどで洪水があった一方、日本やロシアなどでは記録的な猛暑や干ばつに見舞われました。今年も九州南部が梅雨入りした日、北海道のオホーツク海側では季節外れの雪が降りました。日本が地理的に南北に長い国とはいえ、こういった極端な気象現象が同時に起こる事は異常気象なのかもしれません。また今年6月3日で雲仙普賢岳の大火砕流から20年が経ちました。43人の尊い犠牲者の方々には改めてご冥福をお祈り申し上げます。我々青年協会と致しましても、この教訓を忘れる事なく活かし、丸三ヶ月経った未曾有の東日本大震災の被災地、被災者の方には

我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする



社団法人
長崎青年協会憲章

出来る限りの恩返しが必要不可欠だと思います。さて6月に『厄入り清祓いの儀』と『厄入り懇親会』が行われました。お忙しい中御出席いただきました多くの先輩方に心から感謝申し上げます。そして担当の事業委員会の皆様、大変お疲れ様でした。いよいよこれからは7月の『みなとまつり』・8月の『青少年育成事業』、『大合同例会』と事業が目白押しとなります。各委員会が早目早目の準備をし、担当委員会のみならず委員会同士の横の繋がりも大事に『コミュニケーションの充実』を図りながら青年協会全体で盛り上げて行きましょう!!!

5月例会

平成23年5月23日(月) サンプリエールにて5月定時例会が行われた。冒頭の会長挨拶で山口健太郎会長より、「GWが終わりました。家族がいる方は遊びに行きましたか？私はたくさん遊びました。」との挨拶を頂き、「震災から2ヶ月が経ちました。本日、お話しして頂く浅田眞澄美OBは、実際に被災地へ出向きボランティアとして働いてきたそうです。会員の皆さんも浅田OBの話聞いて何かを感じ、考えて下さい。」と述べられた。委員会報告では総務例会委員会より、21日に結婚式を挙げた荒木訓弘君へお祝いの言葉が送られた。先月行われた「青年協会認定試験」の結果も発表され、見事100点満点を取った人は一人、野口富士男君だけであった。広報委員会は広報誌への協力の呼び掛けと、福祉委員会からはプルタブを集めるための箱を事務局に設置したとの報告があり、サマーキャンプの日程も8月6日、7日で決まったとの報告があった。夢の企画推進室からは長崎のおいしい食に関しての情報提供のお願いがあった。同好会報告では、ゴルフ同好会の桂部長から第一回ゴルフコンペが開催され、優勝者は桂部長本人だった事が報告された。その他の報告では総務例会委員会の佐藤委員長より、仕事の都合でなかなか来られなかった、2月入会の近藤力丸君の紹介がされた。「仕事の都合上、なかなか出ることが出来ませんでしたが、これから頑張りたいと思います。」との意気込みが語られた。その後事業委員会の馬渡委員長、伊藤照彦君、常盤俊介君の三人の出演による熱血が繰り広げられた。馬渡委員長の「お店の女の子が出て来んとさー。」とのセリフから始まり、厄入り事業への出席率の低さについての悩みが語られた。台本をガン見の馬渡委員長、そんな馬渡君に的確なツッコミを入れる伊藤君、何気に緊張している常盤君、と終始笑いの絶えない熱血であった。



新入会員を紹介してください！



キャンプに向けて頑張ってます！



誕生日おめでとございま〜す

親和観光
寿し・割烹 **に** じん

〒850-0905
長崎市竜町2-6 (中尾ビル)

☎095(820)0787
☎095(824)9683
<http://sushi-kappou-jin.com/>

OB 中尾 英徳

Design. and. Dentail. home

URL <http://www.ddhome.jp> e-mail info@ddhome.jp

(株) タケダ
総合建設. 不動産

☎0120-393917

会員 武田 誠

YAGURA. 飲食酒家
グループ **花蔵**
YAGURA.

本店: 長崎市滑石1丁目1-16
☎095-857-4554

住吉店: 長崎市住吉町1-16 堤ビル2F
☎095-843-8289

会員 山口 健太郎

特別協議老人ホーム
Katafuchi **かたふち村**
Murata

長崎市片淵3丁目500番地2

☎095-828-5680
FAX 095-811-2133

会員 茂田 法人

5月例会続き

今月の企画では、「ボランティアと防災」と題して浅田ますみOBに東日本大震災の現状についてお話し頂いた。東日本大震災をうけ浅田OBは、4月28日より3日間の日程で長崎県議会議員としてではなく「個人のボランティア」として被災地に行かれたそうである。短期間ではあったが様々な貴重な経験・体験をされたようである。28日に東京を発ち、車に救援物資を満載し9時間かけて大船渡へ。それまでの道のりではあまり震災の影響は感じなかったが、岩手県内に入ってまず目に入ってきたのは現地の子供達が壁に書いたであろう「ごくろうさまです」の文字。そこに被災地の人々の「津波に負けない」という強い意志を感じつつ避難所である市民会館に到着した。中は安否確認や避難所情報などを貼り付けるボード・携帯電話充電器とパソコンのスペース・救援物資を保管しておく倉庫などとして使われていた。ボランティアは「全て自分の責任で行動する」のが基本で、そのため浅田OBも防寒具や食料を含め重装備での活動であった。同時に何らかのつてがないと本当に必要な活動が出来ないのも事実であり、浅田OBの場合は岩手県にいらっしゃる知り合いの方と連絡を取って行かれたそうである。イタリア料理店を経営していたシェフは津波に流されなかった自分の店舗と残された多少の食材で、被災者へ炊き出しを行う事を始めた。その後少しずつ食料の「配給」も始まったが量と質が充分ではなく、それからは救援物資として送られた野菜を中心に調理を行い避難所へ運んでいた。また瓦礫の問題もあり、ボランティアセンターから外に出て1分も歩かない内に、そこには瓦礫の山と、遠い海から打ち上げられた船がそのままの形で残っており、きれいな青空との対比が物悲しさを醸し出していた。住民の会話も「あの人は無事だったのか？」という非日常的な言葉が頻繁に交わされていた。地元の高校生に話を聞くと、「揺れが収まった後、近くの子供達に『高台に逃げろ』と呼びかけ一緒に逃げると程なく潮がみるみる引き海の底が完全に見え、その直後沖から大きな黒い塊が迫ってくるのが見えた。その後起こった事に対して目を背けたい衝動に駆られたが、これからの為には見ておくべきだと思い始終見続けた」との事だった。

最後に質疑応答の時間が設けられ、「今、私達に出来る事は何なのか？」という質問には、義援金もちろん大事、それ以外にはここ長崎で特に子供達に「防災意識」を高める話をしてあげる事。同時に自分の住んでいる地域において教訓を生かすべき、自分達の防災の在り方との回答があり、「長崎県としての取り組みは？」という問いには、「県内での備蓄品を救援物資として送った。同時に避難場所になりうる学校における備蓄も検討している」との事であった。以上が浅田OBに話していただいた被災地の現状で、私達も大事な自分の家族の事を思い、他人事では済まされない現実的な話としてそれぞれ受け止めていた筈である。



貴重なお話、本当にありがとうございます！



現地の人達が本当に必要としている物は何ですか？



長崎の防災対策はどうなっていますか？

2次懇親会

5月例会終了後、会員の坂野君のお店『とめ手羽』中央橋店にて二次懇親会が行われた。懇親会中には会員同士が仕事やプライベートの事、協会活動についての意見交換を用意された料理やお酒を交えて活発に行われた。また、例会でお話し頂いた浅田ますみOBも参加され例会中には時間が足りず聞けなかった被災地の現状についても語り合い、お話しの内容を振り返りながら青年協会として何をすべきか、また被災地の方々に対して本当に必要な事とは何なのか、真剣に語り合う一時となった。



ソーケン株式会社
SOKEN
介護・湯灌・警備・派遣等
なんでもご相談下さい
長崎市住吉町21-7
☎ 095-894-9500
会員 佐藤 誉

ご先祖に永遠の安らぎを
桂 桂 石材
株式会社
墓碑・墓石・戒名彫込・施工販売
市内各所墓地紹介いたします
〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷425-3
TEL. 095-856-4094 FAX. 095-856-7533
会員 桂 雄 剛

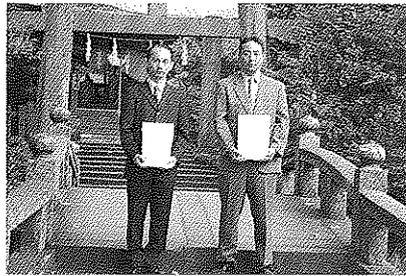
100年の屋根造り
共栄住建株式会社
本社 長崎市横尾3-21-14
中央事業部 諫早市多良見町木床323
県南事業部 長崎市小ヶ倉3-50
tel.0957-43-3104 fax.0957-43-3066
kyouei.jyuuken@ec2.technowave.ne.jp
会員 小林 伸也

炭火焼き
Daidai だいたい
長崎市西山2丁目12-3
長崎大学経済学部バス停前
☎ 095-822-0116
http://daidai-yakitori.jp
会員 池田 賢太郎

厄入り清祓いの儀



皆で記念撮影



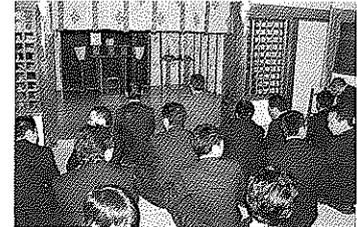
厄入り当事者岩切君と末次君

す。自らの健康に気を付けたいと思ひます。おめでとうございます。

末次 成礼君
この度は厄入りを皆様と一緒にさせていただきました。本当にありがとうございました。

岩切 貴樹君
当事者になり協会のありがたさを再認識しました。卒業するまでの期間、協会の沢山の思い出を作りたいと思います。

〈清祓いの儀〉 平成23年6月1日(水) 早朝6時より上西山町にある松の森神社にて厄入り清祓いの儀が執り行われた。今年の厄入り当事者は岩切貴樹君と末次成礼君の2名である。当日は早朝から小雨が降っていたが清祓いの儀が行われる頃には雨も止み厳粛な雰囲気の中、参加者全員で神前に祈祷し玉串奉典を持って、今年の厄入り清祓いの儀も無事執り行う事が出来た。その後、神社入り口の階段にて毎年撮影をお願いしている松島OBの軽快なトークで厄入り当事者を囲んで記念撮影を行い、今年の厄入り清祓いの儀も滞りなく終了した。



厄入り清祓いの様子



朝食会の様子

〈朝食会〉 厄入り清祓いの儀が終了した後、午前7時より筑後町にあるホテルセントヒル長崎にて朝食会が行われた。最初に今年度会長の山口会長の挨拶があり6月4日に行われる厄入り懇親会への参加のお願いを伝えると、続いてOB会会長の船越OBより長崎での厄入りの風習と当事者の健康に気を付ける様にとのお言葉を頂き、『いただきます』の合掌の後に和やかな雰囲気の中、参加者全員で朝食を頂いた。歓談が続く中、事業担当室長中尾君の締めのお言葉をもちて朝食会も無事終了した。

厄入りに関する豆知識

一般的には厄入りの年は災いが多いと伝えられているので、正月や節分の時期に早めに厄入りを済ませます。厄払いでいう、前厄・本厄・後厄とありますが、何故このようなものがあるのかと言うと、厄年は1年間というだけではなく、一番重要なのは本厄ですが厄年とは本厄の事を指します。前厄は厄年に何が起きますよといった前兆を起こす年の事で、後厄は厄の恐れがなくなっていくという年になるので、3年間は厄年が続きます。一番注意すべき年は本厄で、その本厄だけを厄払いされる事が多いようです。また男性と女性は厄年の年齢が違うので前厄、後厄の年齢も違ってきます。厄年は数えであるものなので男性の場合は、25歳・42歳・61歳が本厄となり、女性の場合は19歳・33歳・37歳が本厄となります。その前後の年が前厄、後厄となります。女性の場合は30代の内に2回も厄年ある為、6年間は厄年になってしまい、女性は30代の内が特に注意が必要という事になります。一方、長崎では6月1日に諏訪神社で行われる長崎くんちの最初の神事『小屋入り』にあやかり、神事に合わせて厄入りを行う事で、なるべく遅く厄入りをして災いのかかる期間に入るのを遅らせるという考え方があります。

市長表敬訪問

5月30日(月)山口会長をはじめ今年度理事者で長崎市役所を訪れ、田上富久長崎市長に表敬訪問を行ってきた。最初に名刺交換から始まり、11月に島で2日間行われる夢の企画推進室の事業の趣旨説明を行うと、田上市長から「出島はビールの発祥の地でもあるから頑張っていたきたい。2日間だけではなく、これから先に繋がって行けるようなイベントにしていきたい。」とお言葉を頂いた。また今後の長崎の展望については「若い人(高校を卒業したばかりの人など)や女性が頑張って街を元気にしていくという時代の節目に来ている。青年協会の皆さんにも、そういった時代の変化を受け入れつつ、今後も長崎の為に活動していただきたい」とのお言葉も頂いた。



お忙しい中、ありがとうございました！

まわたり
弁当販売
長崎市浜口町12-8
tel 095-844-3835
fax 095-844-1707
会員 馬 渡 一 正

Light Blue
〒852-8107
長崎市浜口町12-9
すし善ビル202
TEL.095-845-0177
会員 田 中 徹

福祉用具・紙おむつ販売
エスエス
00年後の ご予約承ります
長崎市江川町119-4 TEL/FAX 095-879-2593
携帯 090-9605-6451
会員 川 口 千 波

麈の尾屋
〒850-0975
長崎市三和町129番地
TEL.095-878-3761
会員 荒 木 訓 弘

ありがとうの言葉

『妻と子供たちにありがとう』

岩村 太基



「ありがとう」と伝えたい人を見るとたくさんいる中、やはり家族に一番「ありがとう」を伝えたいと思います。まずは長女のうららと長男の昊洋に毎日元気に育ってくれてありがとう。最近ではわがままを言ったり育児も大変だけれど日々の成長がとても楽しみです、2人の笑顔に毎日癒されます。また、そんな2人の世話をしながら家事をこなす妻にありがとうと伝えたいです。僕が仕事に集中することができるのも、毎日おいしいビールが飲めるのも、きつと妻のおかげだと思います。みんな本当にありがとう。これからもよろしく願います。

『家族へ感謝』

高屋 昌弘



我が家には4歳になる姉の莉子と2歳の弟の孝太郎がいます。この子供達が僕に夢を与えてくれた事に感謝したいです。というのは、今の自分の夢がこの子供達が将来お父さんみたいな人の役に立つ人物になりたいと言ってくれるような人になる事だからです。その為にも、父親として男として常に輝かねば！といつも奮い立たされます！まず子供達に感謝です。そして、もちろん妻にも感謝です。週末もなかなか休みをとれない私に代わりに、家の事をしつかり守ってくれています。なかなか言葉では伝えきれませんが、この場を借りて『いつもありがとう』最後に、このような感謝を考える機会を作ってくれた広報委員会の方々に感謝です。ありがとうございました！

『日本酒を飲んでもらってありがとう』

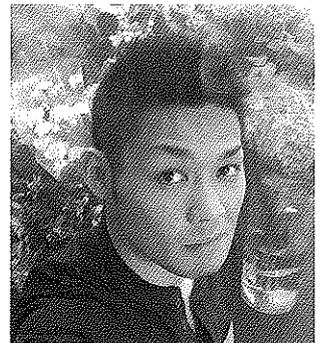
吉田真一郎



長崎市平戸小屋町でビールは店に置いていない変な酒屋を営んで9年目になりますが、当店では『山椒は小粒でもピリリと辛い！』の思う有名無名に聞わず、私自身の味の好み？の日本酒を数多く販売させてもらっています。始めた当初は焼酎ブームの中で料飲店さんの得意先も0件からのスタートでしたので、それは大変な事でしたが、私の思いが通じ取引きしてくれる料飲店さんが徐々に増えまして、私の事を信用して日本酒を置いていただき、『この日本酒美味いね！』との言葉で充分だと感じている今日この頃です。日本酒は長らく消費低迷していますが最近徐々に伸びてきている事を確信しています。日本酒御愛飲家の皆様、本当にありがとう！これからもっと本物の日本酒呑みたい方が増えるのを楽しみにしています。

花に感謝

人間は年を重ねるごとに、偉そうになってしまう傾向があります。色々な事を知ってしまうと、色々な事が当たり前に見えてきてしまいます。その為物事に精通している人や偉い人ほど、何もかもが当たり前だと思ってしまう感謝するのを忘れてしまいがちになっています。いくら知識を持った人でも、感謝を忘れてしまっただけは意味がありません。日ごろお世話になっている人、親しい人に「ありがとう」って言いたいですね。でも、改めて感謝の気持ちを伝えるのはちょっと恥ずかしい感じがします。「ありがとう」は魔法の言葉です。感謝の気持ちを伝えるだけで、言う方も言われる方も心が気持ちよくなってきます。「ありがとう」と声を掛け合う事で毎日が楽しくなります。人間関係が良くなり、日々の生活が幸せなものに変化していきます。しかし人というものは不思議なもので、親しい人達ほど「ありがとう」と声を掛ける事が気恥ずかしく感じ、なかなか感謝の言葉が出なくなってきます。そんな時は「いつもありがとう」の気持ちを花に託して、お花を贈ってみてはいかがでしょうか？花言葉とは、草花に当てはめられた言葉の事です。花や草の色や香りから受ける印象などを言葉に置き換えて、花飾りや花束を贈る事で言葉を交わさなくても自分の意思や感情を伝える事が出来る手段です。たくさん「ありがとう」とまわりの人に言えば言うほど、「ありがとう」の言葉が返ってくるものです。花に感謝の気持ちを込め、「ありがとう」と言いながら花をプレゼントしましょう。まわりの人々を幸せにしてあげる事が、自分を幸せにする為の一番の近道なのです。



濱口 吉朗君



ダリアの花言葉：感謝

峰 匠
リフォーム・給湯器・エアコン付け替え
〒851-0405
長崎市為石町912
tel095-892-1150
fax095-892-0609
会員 峰 一 寛

おいしいカステラも
写真・印刷文化も
ナガサキから!!
印刷・自費出版・ギャラリー
複製 **タイピント印刷**
850-0034 長崎市榊島町9-15
TEL825-4777・FAX825-2340
090-2712-9779
会員 山 口 稔 之

土地家屋調査士
岩村太基事務所
〒850-0003
長崎市片淵2丁目15-3 202号
TEL/FAX 095-822-5014
会員 岩 村 太 基

ダイワシロアリ
あなたの住まいを
白蟻から守ります。
白アリの駆除は任せて下さい。
スズメバチその他害虫駆除もお力になります
長崎市葉山1-44-6
0120-642-786
会員 大 楠 浩 生

6月の活動予定

- 1日 厄入り清祓いの儀
- 4日 厄入り懇親会
- 6日 理事会
- 17日 理事会
- 22日 臨時総会

7月の活動予定

- 5日 理事会
- 18日 理事会
- 21日 定時例会
- 30日 みなとまつり
- 31日 みなとまつり

今月の誕生者紹介

- 北川 栄太君(36) 昭和50年6月4日生
(平成22年6月入会)
- 福島 賢吾君(37) 昭和49年6月11日生
(平成20年4月入会)
- 小西 達也君(26) 昭和60年6月12日生
(平成21年6月入会)

委員会だより

総務例会委員会…5月の例会も多数のご出席ありがとうございました。浅田OBにも来ていただき、各会員が震災の現状を知り、何かしら感じたのではないかと思います。

広報委員会…表紙の写真を撮影する度に長崎の歴史と魅力を再発見しています。

新人開発委員会…5月は残念ながら新入会員獲得には至りませんでしたが、引き続き皆様のご協力よろしくお祈いします!!!

交流委員会…家族懇親会まで後3ヶ月を切りました。委員会一丸となって頑張ってます!

渉外委員会…みなとまつりも着々と話が進んでいます。協会として出来る事をしていきたいと思ひます!

福祉委員会…委員会メンバー集まりも良く、楽しみながらやっております。キャンプをお楽しみに!

事業委員会…厄入り事業に多数のご参加ありがとうございました。これから『おくんち広場』に向けて邁進していきますので御協力の程よろしくお祈いします。

夢の企画推進室…夢の企画爆進中!開催日程が決定しましたよ!11月5日~6日です。皆さんのスケジュールは、ガッチリ抑えさせて貰います♡

表紙の説明

今月号の表紙の写真は賑町にある天満坂、通称『喧嘩坂』です。由来は元禄十三年(1700年)12月19日に佐嘉鍋島藩深堀領の武士、深堀三右衛門と芝原武右衛門と、町年寄高木彦右衛門が天満坂で出合い、この日は大雪で足場が悪く三右衛門が石段で躓き倒れて、はね土が高木の仲間にかかった。両名は謝罪し、その場は収まったが、夕暮れ時に高木方20数名が深堀屋敷に押しかけ土足で乱暴を働き、その上両名の刀の大小を奪い去った。三右衛門と武右衛門は武士としての恥辱を受けたとして、刀を取り返すべく仲間を走らせた。翌日20日朝、西浜町高木屋敷に討ち入り、彦右衛門以下6名を討ち果たしたが、その後、深堀三右衛門と芝原武右衛門の両名は切腹し自害した。それ以来、この天満坂は喧嘩坂とも呼ばれるようになり、一説によると、この騒動は『忠臣蔵』で有名な赤穂浪士の討ち入りにも影響を与えたと言われているそうです。

同好会報告

5月18日(水)、パサージュ琴海にて、ゴルフ同好会第一回目のゴルフコンペを行いました!皆で和気藹々とゴルフを楽しんできました。次回は7月に開催予定です。皆さんの多数のご参加お待ちしております!!!



結婚報告

平成23年5月21日(土)無事に結婚式を挙げる事が出来ました。これからもよろしくお祈いします。荒木 訓弘・直美 荒木君、御結婚おめでとうございます!!!



広報委員会のつぶやき

なんで、副委員長なんか引き受けてしまったとやろか……。思ったより大変ばい。あーせつかく、ゴルフを本格的に始めようと思っとなら……。コイじゃ、練習なんて全然行かれんばい。でも、Y委員長にじっと見つめられてお祈いされると断りきれんとやもんね……。K川副委員長のつぶやき



un jour de fleurs
(アン・ジュール・ドゥ・フルール)

〒851-2106
西彼杵郡時津町左底郷340-1
TEL・FAX095-881-3189

会員 濱口吉朗

崎永海運 株式会社

〒850-0936
長崎市浪の平町4-11
tel 095-825-8343
fax 095-825-8097

会員 北川 栄太

Cleaning service ASUNARO
アスナロ

賑町店 賑町5の24 ☎(822)8669
桜町店 桜町5の7 ☎(827)6039

会員 向 篤司

有限会社 ヤマキ食品

本社 〒850-0045 長崎市宝町11-9
TEL.(095) 845-5785
FAX.(095) 845-5638
URL : http://www.yamakishokuhin.com
E-mail : info@yamakishokuhin.com

会員 山本博貴